

令和元年度

「山城地方小・中学校若手教員教師力向上研修講座」開催！

一教職経験3～6年目の若手教員 174名参加一

「人権教育」講座（受講者 127名） 令和元年 12月 26日 京都府総合教育センター

○講義Ⅰ「人権教育を推進するために」 京都府山城教育局 指導主事 杉本 悟

○ビデオ視聴「部落の歴史(中世～江戸時代)～差別の源流を探る～」

○講義Ⅱ「同和教育・人権教育の取組から学ぶ」

花園大学 学生相談支援室 室長

京都府まなび・生活アドバイザースーパーバイザー

竹尾 章彦 様

○グループ協議「人権意識の高揚に向けて」

＜参加された先生方の感想より＞

- ・子どもを取り巻く様々な状況の中で、おかしいこと、間違ったことを見抜ける力を身につけさせるためには、教える側の人権に関する知識、高い人権感覚が必要であると感じました。
- ・見えている一面だけでは全てはわからないということが印象的でした。しっかりと子どもたちに伝えていきたいです。

- ・日常生活の中で今日学んだことをどのように活かすのかが最も大切であり、教員として求められる能力であると感じました。



「地域学習」講座（受講者 47名） 令和元年 12月 26日 京都府山城郷土資料館

○講演「発見！！山城のあゆみ」 元城陽市歴史民俗資料館館長

京都府立山城郷土資料館友の会理事 村田 照久 様

○講義「京都府立山城郷土資料館の機能と取組」

京都府立山城郷土資料館資料課長

細川 康晴

京都府立山城郷土資料館

職員

○管内視察・体験学習

＜参加された先生方の感想より＞

- ・山城地方の歴史について今まで知らなかったことがたくさんありました。身近なものにも学習の資料として役立つものがあることがわかり、今後活かしていきたいと思いました。
- ・山城の名の由来や、巨椋池の昔の様子などととても面白く学ばせていただきました。

- ・展示物について、子どもたちに伝えていくためのポイントを詳しく教えていただきました。
- ・社会科のみならず、教科横断的に山城の歴史を子どもたちに伝え、ふるさとへの愛情をもった子どもの育成に努めたいです。

